

武蔵野大学学術機関リポジトリ Musashino University Academic Institutional Repository

大正期の旧西本組本社ビル：その鉄道工事記録など

著者	西本 直子, 西本 真一
雑誌名	武蔵野大学環境研究所紀要
号	5
ページ	91-104
発行年	2016-03-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1419/00000266/

大正期の旧西本組本社ビル

—その鉄道工事記録など—

Former Head Office Building of Nishimoto-gumi in Taisho-era
— Records of Railway-related Construction —

西 本 直 子*
Naoko Nishimoto

西 本 真 一†
Shinichi Nishimoto

前言

今回新たに明治・大正期の西本組工事経歴の一部が見つかった。鉄道工事と水力発電工事が8割前後を占め、施工地域は関東（栃木県と茨城県）、関西、中国、九州地域、及び、満州、韓国に及んでいる。水力発電に関連する土木・トンネル工事は大正後期に増えているが、それに伴う京阪電気と南海水力電気の火力発電所の鉄筋コンクリート建築工事¹を遅くとも旧西本組本社ビル竣工年と思われる大正14年までに行っていたことが明らかになった。また、明治13年、西本用助は鹿島組の初めての鉄道請負工事に関わった²ことが知られていたが、明治34年竣工の南海電鉄紀ノ川橋梁（和歌山）について鹿島組と業績を共有していることも判った。

1、旧西本組によるコンクリート造建築

旧西本組本社ビルを設計した岩井信一の大正11（1922）年の早稲田大学の卒業写真³に、当時、早稲田大学建築学科の創世期を支えた教授陣として構造家・内藤多伸と、様式建築の名手と謳われた建築家・岡田新一郎が写っているが、当該建物は口伝では岩井の卒業設計に基づくとしていたことを勘案すれば見逃すことができない。旧西本組本社ビルの配筋には、当時、普及してい

-
- 1 火力発電所2件については鉄筋コンクリート造と明記されている。
 - 2 三井建設株式会社編纂室「三井建設社史」三井建設株式会社（平成5〔1993〕年）、p.2。「鹿島建設130年史・上」、p.42。鹿島組は明治13年に初めて鉄道工事を請負い、北陸線長浜・敦賀間のうち中の郷・柳ヶ瀬間を20万円で受注して協力者を募り、その時に和歌山の三代目西本用助が協力者として加わったとある。
 - 3 拙稿「旧西本組本社ビルの建造年代と平面の分析」、武蔵野大学環境研究所紀要3（平成26〔2014〕年）、pp.125-128、図10-12。

*工学部非常勤講師（建築デザイン学科） †工学部非常勤講師（建築デザイン学科）

たアメリカ式配筋では見られない太い鉄筋が観察され、内藤多伸の影響を受けた可能性が考えられる。ルネサンス様式で纏められたファサードのプロポーション処理については岡田の薫陶を受けたことも推測される。

請負業者の鉄筋コンクリート造本社ビルの築造としては大林組本店（大阪）が大正8（1918）年に建てられており、和歌山の請負業者がこれを行う背景の追究をおこないたい。江戸時代から土木工事で名を成していた3代目・西本用助は明治初期に鉄道工事に参入するために危険を顧みず工事に挑戦して名を成していた⁴が、4代目・西本健次郎は明治・大正・昭和初期に至るまで土木建築請負業として業績を発展させていった。明治期の土木業と鉄筋コンクリート工法との結びつきが容易に想像されるが、これまで大正7（1918）年、旧和歌山水力電気（第二発電所）関西電力高津尾発電所煉瓦造工事⁵など煉瓦造工事が判っていたものの、鉄筋コンクリート造建築の実績は確認できなかった。資料の渉猟により、「日鮮満土木建築信用録」第2版（大正2〔1913〕年）と、同第4版（大正14〔1925〕年）から新たな工事経歴が見つかり、大正14年までに鉄筋コンクリート造建築の経歴があったことが確認された。

2、「日鮮満土木建築信用録」第2版（大正2〔1913〕年）に見られる西本健次郎と西本組

「日鮮満土木建築信用録」は合名会社・日本実業興信所（京橋区銀座一丁目）⁶により編纂されたいわゆる建設名鑑である。第2版では会社組織はおろか、「組」も余り見られない。西本組の表記もまだ見られず西本健次郎として紹介されている。その意味では紳士録とも言える。広告を兼ねて掲載費を払う人が載るという制約があったわけであるので⁷留意する必要があるが、当時の業界事情と工事経歴を知ることができる。全国の設計者、土木・建築請負者、建築関係者をイロハ順にリストアップして連絡先、経歴、創業年、信用度、全国同業者中のランク、世評、業務の様態、経歴、現況、特長業務などを示し、格付けを行っている。設計者にはジョサイア・コンドルをはじめ、妻木頼黄、辰野金吾、曾根達蔵ら錚々たる名が連なる。美術建築師の業態名で伊藤平左衛門の名が、また建築金物販売業として堀良助（堀商店）の名も見える。建築請負業に外国人名も混じり、目を惹く。和歌山からは他に土木建築請負業で原正組⁸の名がうかがわれ、非常に興味深い。

4 三井建設株式会社編纂室「三井建設社史」、三井建設株式会社（平成5〔1993〕年）、pp.2-44。大正4年から7年にかけて西本組により、旧和歌山水力電気（第二発電所）関西電力高津尾発電所、煉瓦造桁行23.490 m、梁間20.39 m、地下2階、地上2階、一部中2階の工事が行われたことが、「和歌山県の近代化遺産」（2007年）にも書かれている。

5 和歌山県建築士会 HP、「紀州近代化遺産巡り」（http://www.wakayama-aba.jp/isan_meguri/491.html）。

6 全国的な土建業の信用調査機関として日本実業興信所が明治39年に設立された。飯田直樹は大連の不況と関連した動きであると指摘している。明治41年には満州土木建築業組合が設立されている。「日露戦後の大阪における土木建築請負業者：大阪土木建築業組合をめぐる」p.61、脚注67を参照。

7 川島智大「近代日本における請負会社の盛衰について：消滅した請負業の組織と建築」（2012年）にも書かれている。

8 全国同業者中の地位は二流となっている。信用度と世評は高く、現況は常態。治宝公からの普請方御用を務めてその後も陸海軍御用を専任していた。和歌山で信頼の厚い業者であったと思われる。組長は原庄右衛門。

<p>▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p>	<p>▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p>
<p>▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p>	<p>▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p> <p>▲創業……三代目 ▲信用程度……ろ ▲地位(全国同業者中)……B ▲世評……イ ▲業務振……サ ▲現況……ソ ▲経歴……二 ▲特長業務……土</p>

図1：日鮮満土木建築信用録 第2版、「土木建築信用録符号」、p.24

西本健次郎方について、第2版では下記のことが判る。

- ・業態は土木建築請負業であった
- ・本店は現在の旧西本組本社ビルの位置（小野町3丁目30番地）にあった。会計主任：小林助次郎
- ・家族氏名 妻：セキ子（明治4年生）、長男：健三⁹（明治33年生）、次男：用三（明治33年生）、外6名
- ・創業：三代目¹⁰
- ・信用程度：ろ（註：別添付録の凡例による項目〔最厚・厚・普通・稍薄・皆無・不詳〕のうち、厚に該当）
- ・全国同業者中の地位：B, S（註：〔1～8流・不詳〕のうち、2流の中の上位）
- ・世評：イ（註：〔一般に最良・一般に普通・一般に不良・同業に不良・官衛に不良・使用人不評のため一般に不良・業務不振のため一般に不良・不詳〕のうち、一般に普通）
- ・業務振：サ（註：〔最誠実・誠実・熱心・不誠実・普通・不詳〕のうち、熱心）
- ・現況：ソ（註：〔最盛・盛・常態・不振・衰・不詳〕のうち最盛）
- ・経歴：二（註：〔修学・実地・不詳〕のうち、実地）
- ・特長業務：土（特に説明がないが土木、という意味か）

下記の出張所があった。

- ・京都府宇治郡宇治村宇¹¹志津川 主任：西本良吉¹²

9 戦後、2代目・西本健次郎として株式会社西本建設社長となった。用三は一卵性双生児の弟。

10 西本用助が3代目であったので、「4代目」の誤記と思われる。

11 (宇) 志津川の誤植と思われる。

12 西本用助の5男。昭和16年没。

- ・ 島根県簸川郡田儀村 主任技師：小野琢磨 工事主任：八島頼藏
- ・ 兵庫県加古郡水丘町字平野 主任技師：後藤虎雄、工事主任：和田勝
- ・ 大阪府西成郡今宮村 636、神戸市元町通り 5 丁目 80 主任：日野西遵應
- ・ 宮崎県宮崎郡木花村字木咲 主任：田美善蔵

主要業績

- ・ 淡路友ヶ島砲台築造工事
- ・ 元九州鉄道株式会社筑豊線直方赤間第 4 工区上飯塚臼井間長崎線武雄早岐間第二、8 工区鉄道其他工事
- ・ 南海鉄道株式会社尾崎和歌山間隧道其他工事
- ・ 元山陽鉄道第 22、23 工区隧道其他工事
- ・ 元紀和鉄道名倉妙寺間工事
- ・ 奈良公園内道路新設工事
- ・ 和歌山郵便局新設工事
- ・ 官線呉線第 5 第 6 工区隧道其他工事
- ・ 南海鉄道紀ノ川鉄橋架設工事
- ・ 韓国軍用鉄道京義線龍山切取工事
- ・ 和歌山水力電気株式会社日高水源地隧道堰堤排水路工事
- ・ 元韓国仁川萬石洞埋立工事
- ・ 南満州鉄道株式会社瓦房店松樹間複線工事
- ・ 和歌山歩兵第 61 連隊営舎並びに旅団司令部衛戍¹³病院練兵場其他新設工事
- ・ 南満州鉄道株式会社安奉線蘇家屯石橋子間仮線路速成工事
- ・ 和歌山水力電気株式会社日高発電所機械運搬工事
- ・ 和歌山水力電気株式会社電気軌道城壕埋立工事
- ・ 広島電燈株式会社太田川水力電気堰堤排水路鉄道工事
- ・ 宇治川水力電気株式会社第 7、8 号鉄道掘鑿工事
- ・ 阪堺電気軌道株式会社車庫倉庫運輸事務所建築工事
- ・ 和歌山水力電気株式会社三井寺黒井¹⁴間延長工事並びに毛見隧道掘鑿工事
- ・ 広島電気軌道株式会社猿猴川外五川橋梁建設工事
- ・ 和歌山水力電気株式会社手平火力発電所建築其他工事
- ・ 播州鉄道株式会社第 2、3、工区土工及び橋梁其他工事
- ・ 山陽浜田線第 3 工区隧道橋梁其他工事
- ・ 宮崎輕便鉄道株式会社宮崎内海間土工橋梁其他新設工事
- ・ 鉄道院奈良線長地¹⁵玉水間奈良跨線水道橋改築工事
- ・ 和歌浦海岸災害復旧工事

13 「衛生」ではなく「衛戍（えいじゅ）」と書かれる。

14 紀三井寺黒江の間違いではないかと思われる。

15 長池の誤植か。

関西では明治42（1909）年に着工された宇治川電気会社志津川発電所が最初の大出力水力発電所であり、鹿島組が明治42（1909）年から大正2（1913）年まで工事を行ったことが業績に挙げられているが、西本組の出張所が志津川にあったことは留意される。

経歴

西本健次郎の来歴である。要約すると、愛知県海西郡松山中島村に代々建築業を営む家に生まれ、修行のために西本用助のもとに入り、明治26（1893）年に西本家の養子となり明治40（1907）年¹⁶に家督を相続して今や各所に出張所を為している、とある。

3、「日鮮満土木建築信用録」第4版（大正14[1925]年）に見られる西本健次郎と西本組

第2版に比べて業者数などやや整理されている。「組」を形成したものが増えている。信用録の構成についてここで簡潔に示しておく。大きく2部構成である。緒言と刊行の辞¹⁷に続き、前半は全国の主だった503者（または社名）を紹介している。イロハ順目次があり、さらに「土木建築信用録符号及び目次」として503者のうち422者の掲載ページとともに、記号により業務状況を、信用・最高請負額・世評・業務振・現況・経歴・特長業務、の項目で一覧表にしている。

類似した表は第2版にもあったが、第4版では最高請負額の覧が加わった。残念ながら記号凡例が欠落しているので内容を悉に知ることができない。448頁にわたり503者の名、連絡先、場

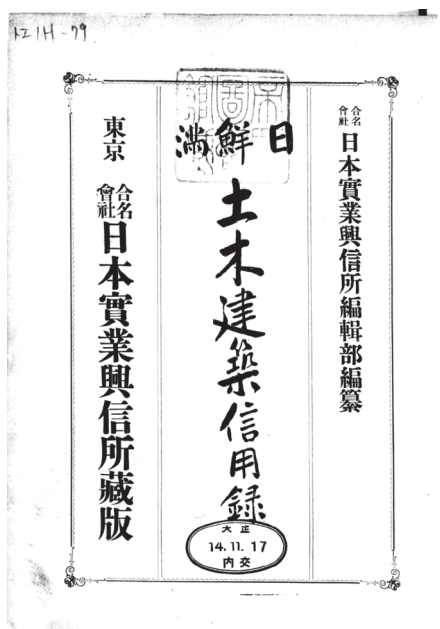


図2：日鮮満土木建築信用録 第4版の表紙

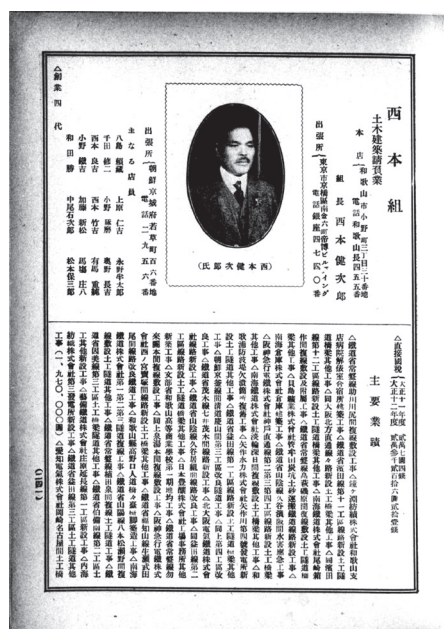


図3：前掲書、西本組の頁

16 日露戦争後、日本の経済が危機的状況に陥った頃である。

17 日本実業興信所所長、清水留吉による。

合により組織紹介、顔写真や業績となる建物の写真とともに、主要業績、経歴が載せられている。半頁から1頁で紹介される例も多いが、間組、清水組（1輯）など現大手と並び、西本組（3輯）も2頁で紹介されている。中で3頁を使っているのは僅か2者で、大林組と鹿島組（1輯）である。当時の地位が看取される。大林組はすでに株式会社として社員の肩書や資本金を掲載しており、近代化の魁であったことが知られる。鹿島組は鉄道請負業として多数の業績を掲載しているが、中に西本組との関連が見られることについて後述する。鹿島組と西本組は揃って納税額を記している点も共通している。和歌山からは他に、原正組（3輯）、奥山組（4輯）（掲載順）の2者が紹介されている。

後半は「全国土木建築業者蒐録」の見出しで名刺形式により6663業者名と住所、創業年が568頁にわたり示される。地域別の目次があり、場所から人名に辿り着くことになる。前半で紹介された503者は重複していないようである。朝鮮、台湾、満州、樺太、都道府県と続くが、石川、大分、熊本、和歌山からの業者がここにはみられない¹⁸。東京府は東京市と郡部で2つに分けられ、四国4県は“四国の部”としてひとつに纏められている。業者数は東京市が約1800者、大阪が約1580者と圧倒的で、その次に北海道、朝鮮、満州と続く¹⁹。朝鮮の部では、西本組京城支店長・千田修二と奥野長吉（咸鏡北道）の名が見える。

第4版では下記のことが判る。

- ・「西本組」の表記がみられる。組長として西本健次郎の名が示されている
- ・本店は第2版と同じく小野町にあった
- ・主なる店員 八島頼蔵 上原仁吉 永野半太郎 千田修二²⁰ 小野琢磨 奥野長吉 西本良吉 西本竹吉²¹ 有馬重鈍 小野鐵吉²² 加藤新松 馬場庄八 和田勝 中野石次郎 松本保三郎
- ・創業:4代目
- ・信用程度:へ（表の凡例が欠落しているために内容は不明）
- ・最高請負額:3（同上）
- ・世評:イ（同上）
- ・業務振:サ（同上）
- ・現況:チ（同上）
- ・経歴:ヌ（同上）
- ・特長業務:土建
- ・直接国税として、大正11年度2万7円4銭、大正12年度2万3千116円1銭の記述あり²³

18 東京の業者数と比較すると、当時、和歌山の情報がどれほど東京に届いているかは不明である。本著を利用するのがどういう人であったかも関係するであろう。

19 川島智生によれば、明治大正期に兵庫には請負業者が多数いたとされるが思いのほか人数が少ない。本著が東京を中心にした内容であると捉えられていたかもしれない。

20 初代健次郎の次女・けいの夫。和歌山県紀の川市粉河町出身。海軍士官学校卒。海軍軍人であったが結婚後、西本組社員となり朝鮮出張所所長となる。後に三建工業㈱社長。昭和40年没。

21 初代健次郎の長女・みすのの婿。和歌山県田辺市那須家の出身。昭和44年11月2日83才にて没。

22 後の西本組東京支店長・小野鉄吉は1905年当時、西本組の所員として佐世保に居たことが判っている。小野鉄吉の長男、小野佐世男（1905～1954）の名前は鉄吉が佐世保にいた時に生まれたことに因んで命名された。詳しくは「旧西本組本社ビルの建造年代と平面の分析」、p.126 参照のこと。

下記の出張所があった。

- ・東京都京橋区南金6町帝博ビルディング
- ・朝鮮京城府若草町百六番地

主要業績

- ・鉄道省常磐線助川川尻間複線敷設工事
- ・鐘ヶ淵紡績株式会社和歌山支店病院解俵室合宿所建築工事
- ・鉄道省浜田線第11工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
- ・同大阪北方直通線線路新設土工橋梁其他工事
- ・同浜田線第12工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
- ・南海電鉄株式会社尾崎箱作間複線敷設及び付属工事
- ・鉄道省常磐線高萩磯原間複線敷設土工隧道橋梁其他工事
- ・貝島鉱業株式会社管牟田炭坑土砂運搬鉄道線路新設工事
- ・南海倉庫株式会社倉庫建築工事
- ・鉄道省山陰線久谷濱阪間水害応急工事
- ・阪神急行電鉄株式会社神戸直通線第2第3第4工区線路新設土工橋梁其他工事
- ・南海鉄道株式会社淡輪深日間複線敷設土工橋梁其他工事
- ・和歌浦防波堤欠潰箇所復旧工事
- ・矢作水力株式会社矢作川第4号発電所新設土工隧道其他工事
- ・鉄道省益田線第1工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
- ・朝鮮京釜線間清道慶山間第3工区改良隧道工事
- ・同上第4工区改良工事
- ・鉄道省茂木線七井茂木間線路新設工事
- ・北大阪電気鉄道株式会社線路新設工事
- ・鉄道省山陰線久谷居組間線路改良工事
- ・同益田線第2工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
- ・日本豊醸株式会社工場事務所其他新築工事
- ・文部省和歌山高等商業学校第1期地均工事
- ・鉄道省常磐線勿来関本間複線敷設工事
- ・同上泉湯本間複線敷設工事
- ・阪神急行電鉄株式会社西ノ宮宝塚間線路新設土工橋梁其他工事
- ・鉄道省福知山線生瀬武田尾間線路改良鉄道工事
- ・和歌山県高野口人道橋橋台橋脚築造工事
- ・南海鉄道株式会社第1第2第3隧道複線工事
- ・鉄道省山陽線八本松瀬野間複線敷設土工隧道其他工事
- ・鉄道省常磐線植田泉間複線土工隧道工事
- ・鉄道省因美線第3工区土工橋梁隧道其他工事

23 「値段史年表：明治大正昭和」、p.67 によれば公務員の初任給が75円であるので、2万7千円などは初任給を15万～17万とすると約5～6000万円と換算されよう。

- ・ 鉄道省伯備南線第2工区土工其他新設工事
- ・ 芸備鉄道株式会社庄原延長線第1工区新設工事
- ・ 内海紡織株式会社第3発電所新設工事
- ・ 鉄道省益田線第3工区土工隧道其他工事 (1,970,000円)
- ・ 愛知電気²⁴株式会社岡崎名古屋間土工橋梁工事
- ・ 明姫電気鉄道株式会社第5工区土工橋梁隧道工事
- ・ 京阪電気株式会社火力発電所鉄筋コンクリート建築工事
- ・ 鉄道省安房線第2工区土工隧道其他工事
- ・ 朝鮮同仁水利組合取入口堰堤導水路工事
- ・ 鉄道省紀勢線和歌山口第3工区土工隧道工事
- ・ 鉄道省安房線第3工区土工隧道其他工事
- ・ 鉄道省伯備南線第1工区土工其他新設工事
- ・ 南鮮鉄道株式会社東部第1第2工区土工隧道其他工事
- ・ 愛知電気鉄道株式会社岡崎知立間土工橋梁其他工事
- ・ 紀勢線和歌山口第1工区土工橋梁其他新設工事
- ・ 九州鉄道株式会社福岡久留米間第1工区線路工事
- ・ 阪神急行電鉄株式会社新淀川橋梁新設工事
- ・ 朝鮮咸鏡線中部北第3区線路新設工事
- ・ 鉄道省神埼西ノ宮間武庫川橋梁架桁其他工事
- ・ 博多湾鉄道汽船株式会社福岡和白間延長線工事
- ・ 広島電気株式会社太田川発電所水路新設工事
- ・ 広島ガス電気株式会社宮島線第1第2工区土工隧道其他工事
- ・ 相武水力電気株式会社中津川水路発電所土工隧道其他工事
- ・ 南海水力電気株式会社内海火力発電所鉄筋混凝土建築工事
- ・ 鉄道省紀勢線東和歌山外4停車場本家其他新設工事
- ・ 南朝鮮鉄道株式会社東部第4工区土工隧道其他新設工事
- ・ 博多湾鉄道汽船株式会社和白福岡間線路新設工事
- ・ 鉄道省長門線第2工区土工隧道其他工事
- ・ 文部省第十和歌山高等商業学校特別教室外十廉新営工事
- ・ 南海鉄道株式会社大師線第1第2工区土工橋梁其他新設工事
- ・ 新京阪電気鉄道株式会社淀川橋梁架桁其他工事
- ・ 岡崎電気軌道株式会社岡崎岩津間土工橋梁其他工事
- ・ 矢作水力株式会社第3発電所水路土工隧道其他工事
- ・ 鉄道省大阪神埼間下神崎川橋梁増設其他工事
- ・ 鉄道省伯備線第5工区土工隧道其他新設工事
- ・ 鉄道省松永尾道間複線土工其他工事
- ・ 和歌山市水道部濾過池調水井築造工事
- ・ 和歌山御坊線海草郡紀三井寺村毛見琴浦間道路改修工事

24 愛知電気鉄道の間違いか。

・南海鉄道株式会社大師線第4工区隧道土工工事其他（大正6〔1917〕年以前ノ業績ハ之ヲ省略セリ）²⁵

経歴

ほぼ第2版と同じであるが、年号が詳しく書かれているので概略を示す。

明治20（1887）年 西本健次郎22歳で養子となる。同年4月、4代目として跡を取る。

明治21（1889）年 健次郎24歳の秋、淡路島友ヶ島第1砲台の建設工事を行い、周囲を驚かした。

明治29（1896）年 南海電鉄株式会社の尾崎和歌山間のトンネル工事において、さらにその実力を発揮。

明治31（1898）年 山陽鉄道第22第23工区トンネルその他の工事、紀和鉄道名倉妙寺間線路新設工事。

明治34（1901）年 呉線第5第6工区トンネルその他の工事、南海鉄道会社の難工事であった紀の川鉄橋建設及び架設²⁶。

明治40（1907）年 歩兵第61聯隊の兵営病院練兵場新設土木及び建築工事を請け負い、短期間で完成させた。

明治42（1909）年 満鉄安奉線蘇家屯石橋子間仮線路速成工事に成功、京都市第2疎水古閑隧道掘削工事及び宇治川水力電気株式会社第7号第8号隧道掘鑿並びに日岡隧道工事等百数十万円に及ぶ大工事を行った。

大正8（1919）年 矢作川水電の第4号発電所、鉄道省益田線第1工区、朝鮮京釜線間清道慶山間第3工区及び第4工区改良隧道工事、鉄道省七井茂木間線路新設、北大阪電気鉄道の線路新設工事、益田千第2工区同第3工区など、著名な工事を行う。

大正14（1925）年当時 西本健次郎は日本土木建築請負業者連合会評議員となっている。

第4版の鹿島組と西本組の主要業績にはともに、「南海鉄道株式会社紀之川橋梁工事」（明治34〔1901〕年）と書かれている。三井建設社史によると明治35（1902）年頃まで西本組は鹿島組の下請けであったとされる。鹿島組の主要業績には宇治川水力電気第2期工事、南海電鉄株式会社大師線第3工区があり、これに対して西本組の主要業績にも南海鉄道株式大師線では第1第2工区工事が挙げられ、経歴の欄には明治42年の宇治川水力電気株式会社第7号第8号隧道工事が大工事であった記述がある。当時の請負業界を見回すと、西松建設株式会社の社史に、西松組（現・西松建設株式会社）は鉄道工事などで間組の下請けをしていたが、明治39（1906）年に間組と39規定を締結したことが記されている。共同して見積もり、施工して得た利益の6分を間組、4分を西松組で分配するという内容で、下請けの関係とは少し違っている。時代は下るがやはり西

25 建造年代は長らく昭和2年とされていたが、西本直子「旧西本組本社ビルの建造年代について」（平成25〔2013〕年）により、大正時代に遡ることが明らかになった。第2版は大正2年まで、第4版は大正6-14年までの業績であるため、大正期の業績を知るためには、第3版により、大正2-6年の業績を見る必要がある。

26 「和歌山県の近代化遺産」p.71には、紀ノ川橋梁のほり方が明治36年、下り方大正11年となっている。「和歌山の研究」pp.227-228でも紀ノ川橋梁工事は難工事であったことが伝えられている。

松建設の社史に、昭和16（1941）年に満州土木建築協会が設立され、建設業者の隣組を組織して企業の枠を超えて協力して仕事をする体制が取られた時に、西松組は間組、鹿島組、西本組、日産土木と5者協定の隣組に編入したことが書かれている。鹿島建設の社史には明治13（1880）年以降、明治大正期に西本組の名は出ていない。

4、まとめ

これまで述べた西本組の明治大正期の工事経歴について、重複を厭わずにひとつの表としてまとめた。＊印は紀要第3号で掲載した鬼沢書簡リストによる。

年（着工） ²⁷	（竣工）	工事名称
明治22年9月	明治23年5月	淡路友ヶ島第一砲台築造工事＊
明治24年4月 至同28年3月	明治29年10月	元九州鉄道株式会社筑豊線直方赤間第4工区上飯塚臼井間長崎線武雄早岐間第二、8工区鉄道其他工事＊
明治29年11月	明治30年9月	南海鉄道株式会社尾崎和歌山間隧道其他工事＊
明治31年5月	明治32年11月	元山陽鉄道第22、23工区隧道其他工事＊
明治31年11月	明治31年10月	元紀和鉄道名倉妙寺間工事＊
明治32年7月	明治33年6月	宇ノ島港新設工事＊
明治33年1月	明治33年10月	長尾線飯塚長尾間及び小倉裏線土工其他新設工事＊
不詳		奈良公園内道路新設工事
不詳		和歌山郵便局新設工事
明治34年5月	明治35年2月	官線呉線第5第6工区隧道其他工事＊
明治34年5月	明治34年12月	南海鉄道紀ノ川鉄橋架設工事＊
明治37年4月	明治38年12月	韓国軍用鉄道京義線龍山切取工事＊
明治38年6月	明治39年12月	日高川水力発電所水路新設工事＊
不詳		元韓国仁川萬石洞埋立工事
不詳		南満州鉄道株式会社瓦房店松樹間複線工事
明治40年		歩兵第61連隊兵営病院練兵場新設土木及び建築工事
明治42年4月	明治44年12月	第二疎水古閑隧道調整工事＊
明治42年		満鉄安奉線蘇家屯石橋子間仮線路速成工事
不詳		和歌山水力電気株式会社日高発電所機械運搬工事
不詳		和歌山水力電気株式会社電気軌道城壕埋立工事
不詳		広島電燈株式会社太田川水力電気堰堤排水路鉄道工事
明治42年		宇治川水力電気株式会社第7号第8号隧道掘鑿並びに日岡隧道工事
不詳		阪堺電気軌道株式会社車庫倉庫運輸事務所建築工事
不詳		和歌山水力電気株式会社三井寺黒井（江か？）間延長工事並毛見隧道掘鑿工事
不詳		広島電気軌道株式会社猿猴川外五川橋梁建設工事
不詳		和歌山水力電気株式会社手平火力発電所建築其他工事
不詳		播州鉄道株式会社第2、3工区土工及び橋梁其他工事

27 着工時と竣工時が三井建設の保有する工事経歴書については分けて示されているため明瞭であるが、その他は混同されている場合がある。

不詳		山陽浜田線第3工区隧道橋梁其他工事
不詳		宮崎輕便鉄道株式会社宮崎内海間土工橋梁其他新設工事
不詳		鉄道院奈良線長地（池か？）玉水間奈良跨線水道橋改築工事
不詳		和歌浦海岸災害復旧工事
不詳		鉄道省常磐線助川川尻間複線敷設工事
不詳		鐘ヶ淵紡績株式会社和歌山支店病院解俵室合宿所建築工事
不詳		鉄道省浜田線第11工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
不詳		同大阪北方直通線線路新設土工橋梁其他工事
不詳		同浜田線第12工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
不詳		南海鉄道株式会社尾崎箱作間複線敷設及び付属工事
不詳		鉄道省常磐線高萩磯原間複線敷設土工隧道橋梁其他工事
不詳		貝島鉾業株式会社管牟田炭坑土砂運搬鉄道線路新設工事
不詳		南海倉庫株式会社倉庫建築工事
不詳		鉄道省山陰線久谷濱阪間水害応急工事
不詳		阪神急行電鉄株式会社神戸直通線第2第3第4工区線路新設土工橋梁其他工事
不詳		南海鉄道株式会社淡輪深日間複線敷設土工橋梁其他工事
不詳		和歌浦防波堤欠潰箇所復旧工事
	大正7年	旧和歌山水力電気（第二発電所）関西電力高津尾発電所工事
大正8年		矢作水力株式会社矢作川第4号発電所新設土工隧道其他工事
大正8年		鉄道省益田線第1工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
大正8年		朝鮮京釜線間清道慶山間第3工区及び第4工区改良隧道工事
大正8年		鉄道省七井茂木間線路新設
大正8年		北大阪電気鉄道の線路新設工事
不詳		鉄道省山陰線久谷居組間線路改良工事
大正8年		同益田線第2工区線路新設土工隧道橋梁其他工事
不詳		日本豊醸株式会社工場事務所其他新築工事
不詳		文部省和歌山高等商業学校第1期地均工事
不詳		鉄道省常磐線勿来関本間複線敷設工事
不詳		同上泉湯本間複線敷設工事
不詳		阪神急行電鉄株式会社西ノ宮宝塚間線路新設土工橋梁其他工事
不詳		鉄道省福知山線生瀬武田尾間線路改良鉄道工事
不詳		和歌山県高野口人道橋橋台橋脚築造工事
不詳		南海鉄道株式会社第1第2第3隧道複線工事
不詳		鉄道省山陽線八本松瀬野間複線敷設土工隧道其他工事
不詳		鉄道省常磐線植田泉間複線土工隧道工事
不詳		鉄道省因美線第3工区土工橋梁隧道其他工事
不詳		鉄道省伯備南線第2工区土工其他新設工事
不詳		芸備鉄道株式会社庄原延長線第1工区新設工事
不詳		内海紡織株式会社第3発電所新設工事
不詳		鉄道省益田線第3工区土工隧道其他工事

不詳		愛知電気（鉄道？）株式会社岡崎名古屋間土工橋梁工事
不詳		明姫電気鉄道株式会社第5工区土工橋梁隧道工事
不詳		京阪電気株式会社火力発電所鉄筋コンクリート建築工事
不詳		鉄道省安房線第2工区土工隧道其他工事
不詳		朝鮮同仁水利組合取入口堰堤導水路工事
不詳		鉄道省紀勢線和歌山口第3工区土工隧道工事
不詳		鉄道省安房線第3工区土工隧道其他工事
不詳		鉄道省伯備南線第1工区土工其他新設工事
不詳		南鮮鉄道株式会社東部第1第2工区土工隧道其他工事
不詳		愛知電気鉄道株式会社岡崎知立間土工橋梁其他工事
不詳		紀勢線和歌山口第1工区土工橋梁其他新設工事
不詳		九州鉄道株式会社福岡久留米間第1工区線路工事
不詳		阪神急行電鉄株式会社新淀川橋梁新設工事
不詳		朝鮮咸鏡線中部北第3区線路新設工事
不詳		鉄道省神埼西ノ宮間武庫川橋梁架桁其他工事
不詳		博多湾鉄道汽船株式会社福岡和白間延長線工事
不詳		広島電気株式会社太田川発電所水路新設工事
不詳		広島ガス電気株式会社宮島線第1第2工区土工隧道其他工事
不詳		相武水力電気株式会社中津川水路発電所土工隧道其他工事
不詳		南海水力電気株式会社内海火力発電所鉄筋混凝土建築工事
不詳		鉄道省紀勢線東和歌山外4停車場本家其他新設工事
不詳		南朝鮮鉄道株式会社東部第4工区土工隧道其他新設工事
不詳		博多湾鉄道汽船株式会社和白福岡間線路新設工事
不詳		鉄道省長門線第2工区土工隧道其他工事
不詳		文部省第十和歌山高等商業学校特別教室外十廉新営工事
不詳		南海鉄道株式会社大師線第1第2工区土工橋梁其他新設工事
不詳		新京阪電気鉄道株式会社淀川橋梁架桁其他工事
不詳		岡崎電気軌道株式会社岡崎岩津間土工橋梁其他工事
不詳		矢作水力株式会社第3発電所水路土工隧道其他工事
不詳		鉄道省大阪神埼間下神崎川橋梁増設其他工事
不詳		鉄道省伯備線第5工区土工隧道其他新設工事
不詳		鉄道省松永尾道間複線土工其他工事
不詳		和歌山市水道部濾過池調水井築造工事
不詳		和歌山御坊線海草郡紀三井寺村毛見琴浦間道路改修工事
不詳		南海電鉄株式会社大師線第4工区隧道土工工事其他

明治期は急速に近代資本主義体制を確立し、欧米の植民地支配を避けて、領土を獲得するという異様な時代であった。土木建築請負業には鉄道敷設工事が大量発注され、危険な作業も多いが国策を支える重要な仕事として一種の使命感ある作業でもあったと推測される²⁸。しかし日露戦争（明治37〔1904〕年～明治38〔1905〕年）が終わると明治末期に向かって経済危機が起こり、

28 鹿島組の鹿島岩蔵は建築施工者として活躍していたが、鉄道局・井上勝の勧めで鉄道請負專業となったと伝えられている。

急速な近代化で明治期に成長した財閥などの民間の利殖活動が盛んになって、「日鮮満土木建築信用録」第1版が発行された明治45（1912）年は、浮き沈みの激しい混沌とした社会であった。「信用録」は不安定な世相で請負者を選ぶために必要とされたと推測できる。明治末期は国内の鉄道網がほぼ完成して工事が減少し始めた頃であり、引き換えに産業の原動力として水力発電が盛んになった。

西本組の業績は、鉄道敷設工事、水力発電施設工事、隧道道路工事、病院等公共施設工事、軍施設工事、事務所や工場など民間施設工事、以上6項目に分けられる。下記に各件数をまとめた。明治末から大正期の時代を素直に映し出している。第4版では満州と韓国の業績数が増えている。満州などの鉄道工事は軍の工事でもあったことを考えると、下記の数字は再考の余地があるかもしれない。また軍施設については公開されない場合も考えられる点を付け加えておく。

○第2版（大正2〔1913〕年）全28件

鉄道工事17件（61%）、水電工事5件（18%）、道路工事2件（7%）、公共施設等2件（7%）、軍施設2件（7%）

○第4版（大正14〔1925〕年²⁹）全70件

鉄道工事53件（76%）、水電工事8件（11%）、道路工事3件（4%）、公共施設4件（6%）、軍施設0件（0%）、民間事務所等2件（3%）

第2版では公共施設として和歌山郵便局、第4版では民間建築として日本豊穰株式会社³⁰工場事務所建築工事が挙げられている。鉄筋コンクリート造については第4版の主要業績のうち、京阪電気株式会社火力発電所鉄筋コンクリート建築工事、及び、南海水力電気株式会社内海火力発電所鉄筋混凝土建築工事の2件に明記がなされている。いずれも大正14（1925）年までの仕事と考えられるので、旧西本組本社ビルの築造以前にすでに鉄筋コンクリート建築工事経験があった事が判明した。

まだ「信用録」の第1版（明治45〔1912〕年）、第3版（大正6〔1917〕年）は見つけることができていない。僅か15年ではあるが大正期に起こった大正デモクラシーは現代に至る重要な課題を残している。また関東大震災という未曾有の災害を経験している。土木建築業の在り方にどのような影響を与えたか、現代の参考となり得るかもしれない。引き続き大正2（1913）年から6（1917）年を中心に、明治・大正・昭和初期の工事経歴について調査研究を続けていきたい。

謝辞

本研究に当たり、服部薫氏、及び一般社団法人セメント協会・古屋祐介氏の御協力に感謝する。

参考文献

合名会社日本実業興信所編輯部編纂「日鮮満土木建築信用録」第2版、東京合名会社日本実業興信所、大正2（1913）年、p.24、pp.412-413、付録。

29 当初は大正12（1913）年出版予定であったが、関東大震災のために延期となったと書かれているので、調査内容が大正12（1913）年の可能性がある。大正13（1914）年山生橋梁の工事が掲載されていないことを考えると、西本組の経歴は大正12（1913）年までの内容とも考えられる。

30 現在、台湾で旧日本豊醸株式会社の醸造所が再利用され、華山1914創意文化園区として残されている。

- 合名会社日本実業興信所編輯部編纂「日鮮満土木建築信用録」第4版、東京合名会社日本実業興信所、大正14(1925)年、p.14、pp.241-241。
- 飯田直樹「日露戦後の大阪における土木建築請負業者：大阪土木建築業組合をめぐって」、歴史学研究会編纂、歴史学研究 No.750、青木書店、平成13(2001)年6月、pp.45-61。
- 土田宏成「日本近代史分野に於ける最近の土木史関連研究について」、土木史研究講演集 Vol.30、平成22(2010)年、pp.151-154。
- 三井建設株式会社編纂室「三井建設社史」、三井建設株式会社、平成5(1993)年。
- 松尾尊兌「大正デモクラシーの研究」、歴史学研究叢書、青木書店、昭和43(1968)年。
- 重松正史「大正デモクラシーの研究」、清文社、平成14(2002)年。
- 安藤精一編集「和歌山の研究」第4巻：近代編、清文堂、昭和53(1978)年。
- 川島智大「近代日本における請負会社の盛衰について－消滅した請負業の組織と建築」(2012[平成24]年)、
http://www.ejcs.co.jp/library/kenkyukai/61_shiryoku.pdf、閲覧：平成27(2015)年10月30日。
- 週刊朝日編「値段史年表：明治大正昭和」、朝日新聞社、平成4(1992)年。
- 鹿島建設社史編纂委員会「鹿島建設百三十年史・上下」、鹿島建設株式会社、昭和46(1971)年。
- 松浦茂樹「明治の国土開発史 近代土木技術の礎」、鹿島出版会、平成4(1992)年。
- 日本国有鉄道「復刻版 日本国有鉄道百年史別巻 国鉄歴史辞典」、復刻版発行者：成山堂 小川實、平成18(2006)年。
- 原田勝正「日本鉄道史 - 技術と人間 -」、刀水書房、平成13(2001)年。
- 「渋沢社史データベース」、公益財団法人渋沢栄一記念財団情報資源センター(旧・実業史研究情報センター)、
<http://shashi.shibusawa.or.jp/>、閲覧：平成25(2013)年10月30日。
- 「西松建設140年の歴史」、西松建設 HP、<http://www.nishimatsu.co.jp/company/chronicle/>、閲覧：平成27(2015)年10月30日。
- 「大林組百年史」、大林組ホームページ、<http://www.obayashi.co.jp/chronicle/100yrs/t0.html>、閲覧：平成27(2015)年10月30日。
- 大林組社史編集委員会「大林組百年史」、大林組、平成5(1993)年。
- 田光誠二「一枚の写真4 シリーズ新世紀の遺産 山生橋梁(JR東日本・内房線)」、セメント・コンクリート No.796、一般社団法人セメント協会、平成25(2013)年、pp.48-49。
- 西本真一・西本直子「旧西本組本社ビル」、武蔵野大学環境研究所紀要第2号(平成25[2013]年)、pp.95-104 (http://issuu.com/naokonishimoto/docs/musashino2013_nb)。
- 西本直子「旧西本組本社ビルの建造年代について」、日本建築学会 平成25(2013)年大会講演梗概集 F 分冊、pp.921-922。
- 日本建築学会編「新版日本近代建築総覧」、技報堂出版(昭和58[1983]年)、p.341。
- 日本建築学会編「総覧日本の建築第6-II巻、奈良：和歌山」、新建築社、平成14(2002)年、p.254。
- 文化庁文化財部編「総覧登録有形文化財建造物5000」、海路書院、平成17(2005)年、pp.119；270。
- 村松貞次郎「鉄筋コンクリート構造の歴史(第2回)－RC建築の発達－」、コンクリート・ジャーナル Vol.6、No.11、昭和43(1968)年。
- 和歌山県教育委員会編「和歌山県の近代化遺産：和歌山県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書」、和歌山県教育委員会、平成19(2007)年、口絵、pp.204-205；246。
- 「旧西本組本社ビル」、和歌山県建築士会 HP、http://www.wakayama-aba.jp/isan_meguri/1197.html、閲覧：平成25(2013)年10月31日。

図版出典

- 図版1：合名会社日本実業興信所編輯部編纂「日鮮満土木建築信用録」第2版、東京合名会社日本実業興信所、大正2(1913)年、茨城県立図書館蔵。
- 図版2、及び3：合名会社日本実業興信所編輯部編纂「日鮮満土木建築信用録」第4版、東京合名会社日本実業興信所、大正14(1925)年、国立国会図書館近代デジタルライブラリー、<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1017381>、閲覧：平成27(2015)年10月31日。